

整理番号	02-0857
区分 (事務局記入欄)	■臨床研究(□受託・共同 ■院内) □その他
	□医薬品 □医療機器 ■その他

## 医学研究に関する情報公開文書

西暦2023年 7月 26日

研究課題名	4DCT を用いた VAIVT 術前評価の試み
研究実施期間	開始 西暦 2023年 9月 6日 ~ 終了 西暦 2024年 3月 31日 (予定)
研究の対象となる方 (予定症例数)	2023年8月1日~2024年3月31日の期間に当院のシャント外来を受診し精査、加療を要す患者のうち、当院で過去に一度も血管内治療を受けていない患者。 造影剤アレルギーの可能性のある患者は除外する。 (予定症例数: 5例)
研究の目的・方法	(目的) 透析シャントの狭窄、閉塞といったトラブルに対する VAIVT (Vascular Access Intervention Therapy) において、病変の局所の評価が重要である点と言うまでもないが、アクセス回路全体の術前評価が非常に重要である。一般的には US で術前評価がされることが多いが、US は術者の技能に依存し再現性に乏しい点や、高度の石灰化を伴うような瘤では US プローベの圧着が難しく、評価が困難であるといった問題点がある。4DCT の有用性は大動脈瘤のエンドリークの診断などで報告されているが、VAIVT の術前評価としての 4DCT の有用性は現在までにまとまった報告がなされていない。本研究では VAIVT 施行予定の患者に対し、4DCT を撮影し、血管造影や US 所見と対比し、4DCT の VAIVT 治療での有効性について検討する (方法) ダイナミック造影 CT を撮影し、4D 画像を作成する。各症例の手技に対する有用性 (US、血管造影との比較、病変の制度、手技時間、穿刺部位、合併症など) を判定する。
研究に用いる試料・情報の種類	造影 CT 画像等の電子カルテ情報
問い合わせ先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</li> <li>・ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</li> <li>・また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</li> </ul> <p>地方独立行政法人市立東大阪医療センター 研究責任者：放射線科 &lt;医長&gt; 田口 秀彦 住所：大阪府東大阪市西岩田三丁目 4 番 5 号 TEL:06-6781-5101</p>